

# 令和 7 年度 釧路地区の研究活動

研修部長 弟子屈町立弟子屈小学校  
校長 佐 藤 義 行

## 1 はじめに

釧路校長会は、釧路市を除く釧路管内 6 町 1 村の公立小中学校に所属する 41 名の会員で組織されている。長年にわたり開催してきた研究協議会では、会員が一堂に会し、研究課題に基づく研究協議を行うとともに、会員相互の親睦を図ることを通して結束を強めてきた。今年度は、釧路管内の学校経営課題を追究するため設けた研究主題（3 年次）を基に、「第 66 回釧路校長会研究協議会」を 10 月 31 日に開催した。



◇10 月 31 日 第 66 回釧路校長会研究協議会◇

## 2 研究計画

### (1) 活動の重点

- ① 学習指導要領の趣旨を生かした「創意ある学校経営」に資する研修に努める。
- ② 時代の要請と釧路の課題に対応する研修の充実のため、組織的研修体制の推進に努める。
- ③ 校長としての自己研鑽と教職員の力量向上に努める。
- ④ 第 66 回釧路校長会研究協議会が、上記を具現化する場として有意義な研修の場となるよう企画・運営に努める。
- ⑤ 道小根室大会（令和 7 年度）および全連小北海道札幌大会（令和 8 年度）、道中函館大会（令和 8 年度）の提言発表に向けた資料及び原稿作成に努める。

### (2) 研究主題

- ① 研究主題（令和 5 年度策定 3 か年継続研究 3 年次）  
「ふるさと釧路とともに学び 豊かな社会を創る児童生徒の育成を目指す学校教育の推進」
- ② 研究の視点  
【視点 1】組織マネジメント  
（学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりと運営における校長の指導力）  
【視点 2】人材育成  
（「令和の日本型学校教育」を担う教師の資質・能力の向上を目指す校長の指導力）

### (3) 活動計画

- ① 「第 66 回釧路校長会研究協議会」の開催
- ② 各種研究大会への参加体制づくり（道小・全連小・道中・全日中）
- ③ 令和 7 年度道小根室大会第 12 分科会「自立と共生」提言に向けた資料及び原稿作成
- ④ 令和 8 年度全連小北海道大会第 12 分科会「自立と共生」提言に向けた資料及び原稿作成
- ⑤ 令和 8 年度道中函館大会第 3 分科会「豊かな心と健やかな体」提言に向けた資料及び原稿作成
- ⑥ 校長・教頭合同研修会の開催
- ⑦ 研究紀要の編集

### 3 研究及び活動の概要

(1) 「第 66 回釧路校長会研究協議会」の開催

○期 日 令和 7 年 10 月 31 日（金）

○会 場 釧路町公民館

○内 容

① 全体会

【第 1 分科会「組織マネジメント」提言発表】

「地域総がかりで取り組んだ推進小委員会による学校力の向上

～『令和 6 年度学校力向上に関する総合実践事業』の取組を中心に～」

…鶴居村立鶴居小学校 二階 美幸

【第 2 分科会「人材育成」提言発表】

『令和の日本型学校教育』を担う教師の資質・能力の向上を目指す校長の指導力

～多様な人材を活用し、教職員個々の強みを活かした学校経営～」

…標茶町立虹別中学校 川上 正美

② 分科会

協議 1：分科会提言に基づくグループ協議

協議 2：個人実践レポートに基づくグループ協議

③ 講 評

研究協議会の閉会に当たり、北海道教育庁釧路教育局の津田裕匡義務教育指導監より講評をいただいた。

(2) 各種研究大会への参加

○道小根室大会（9 月 12 日～13 日）参加 18 名

○全連小福岡大会（10 月 16 日～17 日）参加 3 名

○道中胆振・室蘭大会（9 月 26 日～27 日）参加 13 名

○全日中香川大会（10 月 23 日～24 日）参加 2 名

(3) 特別委員会の開催

○道小根室大会提言に係る特別委員会 … 8 名 4 回（今年度継続）

○全連小北海道大会提言に係る特別委員会 … 8 名 4 回（次年度継続）

○道中函館大会提言に係る特別委員会 … 8 名 4 回（次年度継続）

(4) 校長教頭合同研修会の開催

○オンライン合同開催

…釧路町・厚岸町・標茶町・白糠町（11 月 6 日）

○町村開催

…弟子屈町（7 月 23 日）、浜中町（10 月 7 日）、鶴居村（12 月 5 日）

### 4 おわりに

今年度も各町村校長会の研修担当者を中心に、各種の研修会を実施することができた。特に、第 66 回研究協議会を研究主題（3 年次）の下、成功裏に開催することができたのは、会員の理解と協力、積極的な参加によるところが大きい。次年度以降も、今日的教育課題への研鑽を深め、新しい研究主題の下、学校力の向上と信頼される学校づくりに生かすことができる研修となるよう努めるとともに、全連小提言発表・道中提言発表に向けた取組も充実させていきたい。